

部局名

農学部 海洋生物環境学科

担当: 深見 裕伸



テーマ

宮崎県のサンゴの魅力



熱帯～亜熱帯の海でサンゴ礁をつくる造礁サンゴ。日本国内では、沖縄でしか見ることができないと思われがちですが、実は宮崎でも見ることができます。しかも、100種類もの造礁サンゴが宮崎に生息し、大規模なテーブルサンゴの群集も存在しています。さらに、研究を進めていくにつれ、未だ名前がついていない日本固有種と思われるサンゴも数種発見できました。この貴重な宮崎のサンゴを後世に残すべく、保全活動も行っています。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fishery/post-11.html>



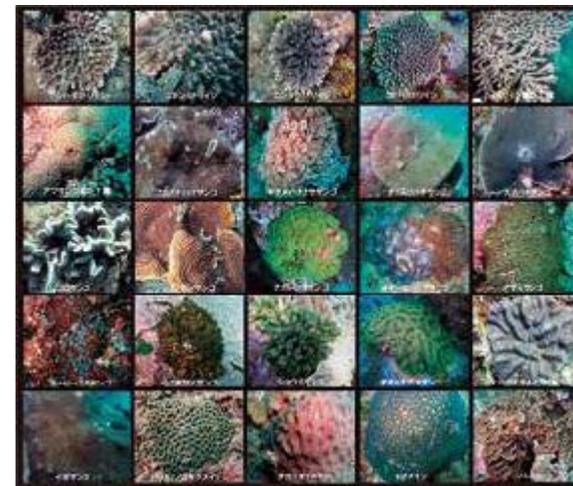
日南・串間のサンゴ群集

この海域では、硬い骨格を持つ造礁サンゴ（テーブル状）と柔らかい体のソフトコーラル（フサフサして見えるもの：中央と右）の両方が見られます。全て茶色なのは体内の共生藻類の色です。



延岡市のサンゴ群集

枝分かれをしたテーブルサンゴが多く見られます。青い魚はソラスズメダイです。よくサンゴ群集で見られる魚です。



宮崎県で見られる造礁サンゴ類

これまでに約100種を確認しました。ここで載せているのはその一部です。